

第110回全国図書館大会長崎大会第2回実行委員会(資料)

(1) 第110回全国図書館大会長崎大会日程等について

①大会日程について

○第110回全国図書館大会長崎大会日程【資料1】	1
--------------------------	---

②参加申込状況について

○第110回全国図書館大会長崎大会参加申込状況【資料2】	3
------------------------------	---

③全体会について

○第110回全国図書館大会長崎大会 来賓等リスト【資料3-①、3-②】	4
-------------------------------------	---

○開会式登壇者配席図【資料4】	6
-----------------	---

○建築賞表彰式・認定司書認定証交付式 配置図【資料5】	7
-----------------------------	---

○記念講演 配置図【資料6】	8
----------------	---

④分科会について

○第1分科会 公共図書館配置図【資料7】	9
----------------------	---

○第2分科会 大学・短大・高専図書館会場【資料8】	10
---------------------------	----

○第3分科会 学校図書館(トークセッション)配置図【資料9】	11
--------------------------------	----

○分科会(長崎県担当)開催形式・内容について【資料10】	12
------------------------------	----

○第110回全国図書館大会長崎大会分科会一覧【資料11】	13
------------------------------	----

⑤展示会について

○第110回全国図書館大会長崎大会 展示会会場図【資料12】	17
--------------------------------	----

⑥懇親交流会について

○第110回全国図書館大会長崎大会 懇親交流会概要【資料13】	18
---------------------------------	----

⑦対面開催における係分担について

○対面開催における事務局員等係分担【資料14】	19
-------------------------	----

(2) 大会予算と協賛広告について

○第110回全国図書館大会長崎大会予算【資料15】	20
---------------------------	----

○第110回全国図書館大会長崎大会 協賛企業・団体一覧【資料16】	21
-----------------------------------	----

(3) その他

○今後のスケジュールについて【資料17】	22
----------------------	----

(参考資料) 第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会規約等

第110回全国図書館大会長崎大会日程

日程 【オンライン形式】令和6年11月30日(土)~12月28日(土)

【対面形式】令和6年11月30日(土)~12月1日(日)

会場 長崎県庁、長崎大学附属図書館

主催 公益社団法人日本図書館協会、長崎県、長崎県教育委員会、長崎県公共図書館等協議会、長崎県学校図書館教育研究会、長崎県大学図書館協議会

大会テーマ 図書館がつなぐ 人・まち・ミライ ~21世紀の出島(長崎)から~

【対面形式日程】

日時	11:30		12:30		14:45		15:10		17:00		17:30		19:30	
11/30 (土)	受付		開会式・表彰式・ 認定司書交付式・記念講演		第3分科会 (学校図書館)				懇親 交流会					
日時	9:00		9:30		12:00		13:30		16:15		16:45		17:30	
12/1 (日)	受付		第1分科会(公共図書館) 第2分科会(大学・短大・高専図書館)		昼食		第1分科会(公共図書館)		日図協の 集い					
展示会・協賛展示は10:00~17:00														

※大会翌日12/2(月)、希望者にミライon図書館見学案内を実施

I 第1日目 11月30日(土)

<12:30~17:00> 【全体会】(長崎県庁 1階 大会議室)

12:30~12:45 (1)開会式

①開会の言葉

長崎県教育委員会教育長 前川 謙介<実行委員長>

②主催者挨拶

長崎県知事 大石 賢吾<大会会長>

公益社団法人日本図書館協会理事長 植松 貞夫<大会副会長>

12:45~12:55 (2)日本図書館協会建築賞表彰式 石川県立図書館(石川県)

12:55~13:05 (3)認定司書認定証交付式 美馬市立図書館 梶浦 真子(第14期認定司書代表者)

13:15~14:45 (4)記念講演「読書がもたらすもの」 講師 小説家 澤田 瞳子氏

※下記の祝辞、基調講演はオンライン形式(11月30日より配信)

- 祝辞 ・文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官 平野 誠
- ・国立国会図書館長 倉田 敬子
- 基調報告 ・日本図書館協会理事長 植松 貞夫

<15:10~17:00> 【第3分科会(学校図書館)】(長崎県庁 1階 大会議室)

○トークセッション※事例報告4本はオンライン形式(11月30日より配信)

<17:30~19:30> 【懇親交流会】

(ホテルセントヒル長崎 2階 妙見の間)

2 第2日目 12月1日(日)

<9:30~16:15> 【第1分科会(公共図書館)】(長崎県庁 1階 大会議室)

※情報交換会(希望者のみ)を含む

<9:30~14:00> 【第2分科会(大学・短大・高専図書館)】(長崎大学附属図書館 中央図書館)

※ランチミーティング(希望者のみ)を含む

※上記以外の分科会はオンライン形式(11月30日より配信)・・・学校図書館(トークセッション以外)、児童サービス、図書館情報学教育、著作権、図書館の自由、図書館利用教育、障害者サービス、資料保存、出版流通、多文化サービス、災害と図書館、非正規雇用職員、市民と図書館

<16:45~17:30> 日図協の集い

※対面形式の全体会(建築賞表彰式、認定司書認定証交付式を除く)、分科会については、当日収録し編集のうえ後日配信します。

第110回全国図書館大会長崎大会 参加申込状況(10月25日現在)

1. 対面参加について

① 県外・県内申込者数

区 分	申込者数	備 考
長崎県外(6,000円)	139名	関係者招待10名含む。(日本図書館協会が負担)
長崎県内(3,000円)	91名	
合 計	230名	

※講師および大会関係者(大会実行委員、スタッフ等)は含みません。

② 参加項目別申込者数

参加項目	申込者数	備 考
11/30 全体会	239名	
11/30 学校図書館分科会	146名	対面開催はトークセッションのみ
11/30 懇親交流会	103名	
12/1 公共図書館分科会	159名	
12/1 大学図書館分科会	48名	
12/2 ミライon図書館見学	51名	

※大会関係者(大会実行委員、スタッフ等)は含みません。

2. オンライン参加について

① 県外・県内申込者数

区 分	申込者数	備 考
長崎県外(4,000円)	640名	
長崎県内(2,000円)	99名	
合 計	739名	

※講師および大会関係者(スタッフ等)は含みません。

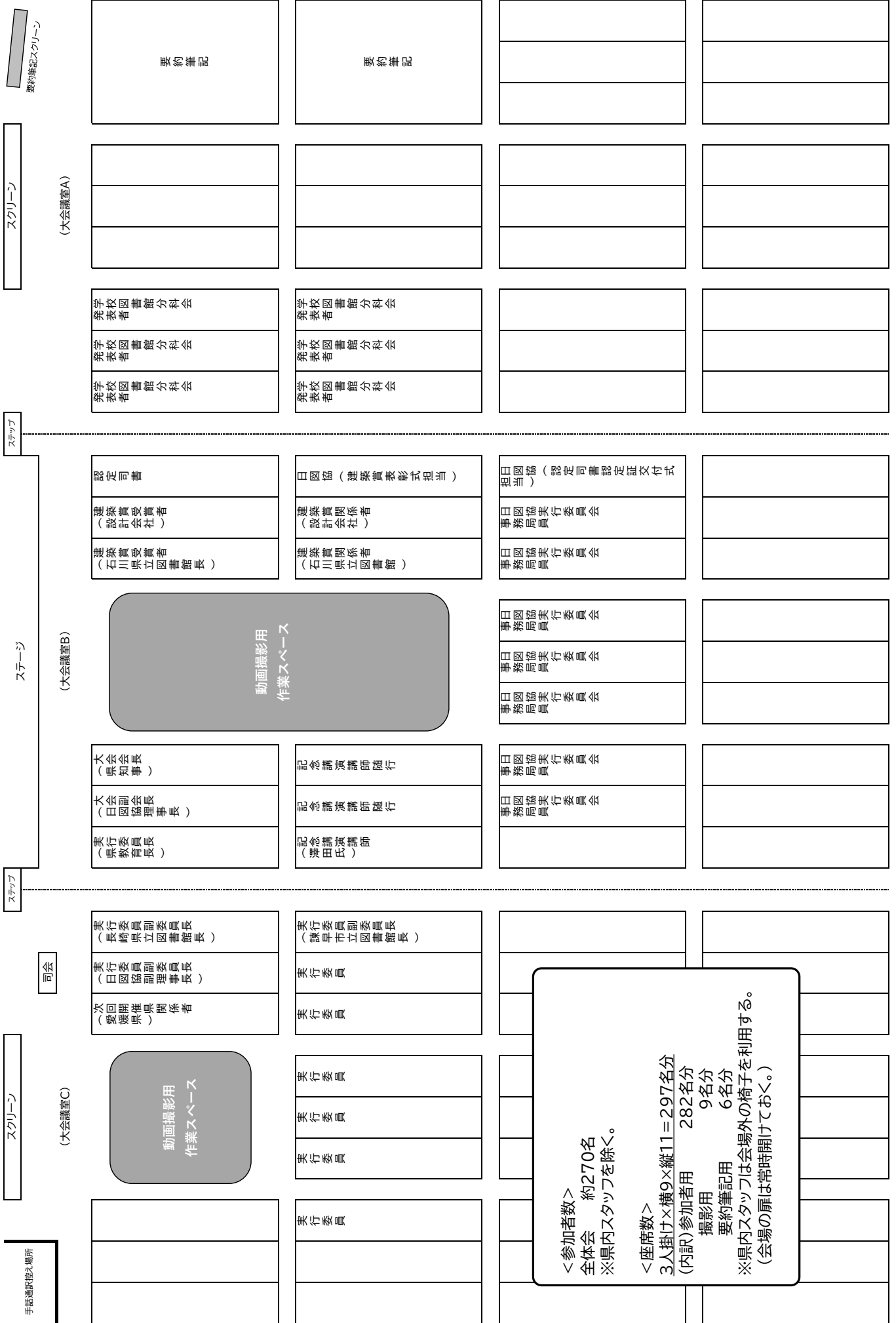
3. 参加申込者合計について

区 分	申込者数	備 考
対面参加	230名	対面参加者はオンライン視聴も可能
オンライン参加	739名	
合 計	969名	

※講師および大会関係者(大会実行委員、スタッフ等)は含みません。

第110回全国図書館大会長崎大会 来賓等リスト

NO	区分	登壇	大会役職(所属)	氏名	リボン	役割
1	大会役員	○	大会会長(長崎県知事)	大石 賢吾	白	主催者挨拶
2	大会役員	○	大会副会長(日本図書館協会理事長)	植松 貞夫	白	主催者挨拶 (基調報告)
3	実行委員会	○	実行委員長(長崎県教育委員会教育長)	前川 謙介	白	開会の言葉
4	実行委員会		副委員長(日本図書館協会副理事長)	鈴木 隆		
5	実行委員会		副委員長(長崎県立長崎図書館長)	池田 浩		
6	実行委員会		副委員長(長崎県公共図書館等協議会副会長 長(諫早市立諫早図書館長))	石山 雅晴		
7	実行委員会		委員(長崎県公共図書館等協議会副会長(新 上五島町立図書館長))	山本 元之		
8	実行委員会		委員(長崎県学校図書館教育研究会会長(長 崎県立諫早商業高等学校長))	力丸 資		
9	実行委員会		委員(長崎県学校図書館教育研究会副会長 (島原市立三會中学校長))	種村 由美		
10	実行委員会		委員(長崎県高等学校文化連盟図書専門部 長(長崎県立大崎高等学校長))	野村 雄大		
11	実行委員会		委員(長崎県大学図書館協議会会長(長崎大 学附属図書館長))	濱田 久之		
12	実行委員会		委員(長崎県教育庁生涯学習課長) 代理:長崎県教育庁生涯学習課参事	加藤 盛彦 代理:谷口 英次		
13	来賓		愛媛県立図書館長	豊田 益実		今後開催県(R7)
14	来賓		石川県立図書館長	田村 俊作		今後開催県(R8) ※建築賞表彰
15	記念講演講師		小説家	澤田 瞳子		
	建築賞表彰	○	石川県立図書館長	(田村 俊作)	赤	表彰式に登壇 ※今後開催県(R8)
16	建築賞表彰	○	株式会社環境デザイン研究所会長	仙田 満	赤	表彰式に登壇
17	認定司書交付式	○	美馬市立図書館(認定司書)	梶浦 真子	赤	表彰式に登壇



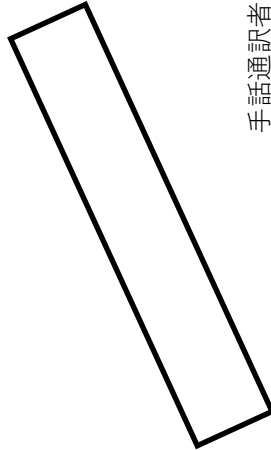
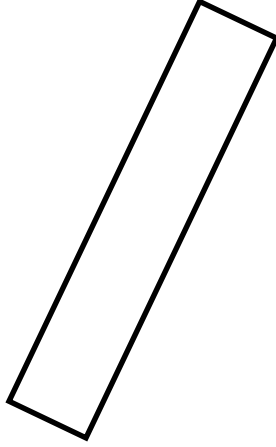
開会式登壇者配席図

実行委員長（長崎県教育長）
前川 謙介（まえかわけんすけ）
開会のことば

大会副会長（日函協理事長）
植松 貞夫（うえまつさだお）
主催者挨拶

大会会長（長崎県知事）
大石 賢吾（おおいしけんご）
主催者挨拶

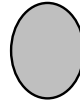
ステージ正面



同会

花

演台



手話通訳者

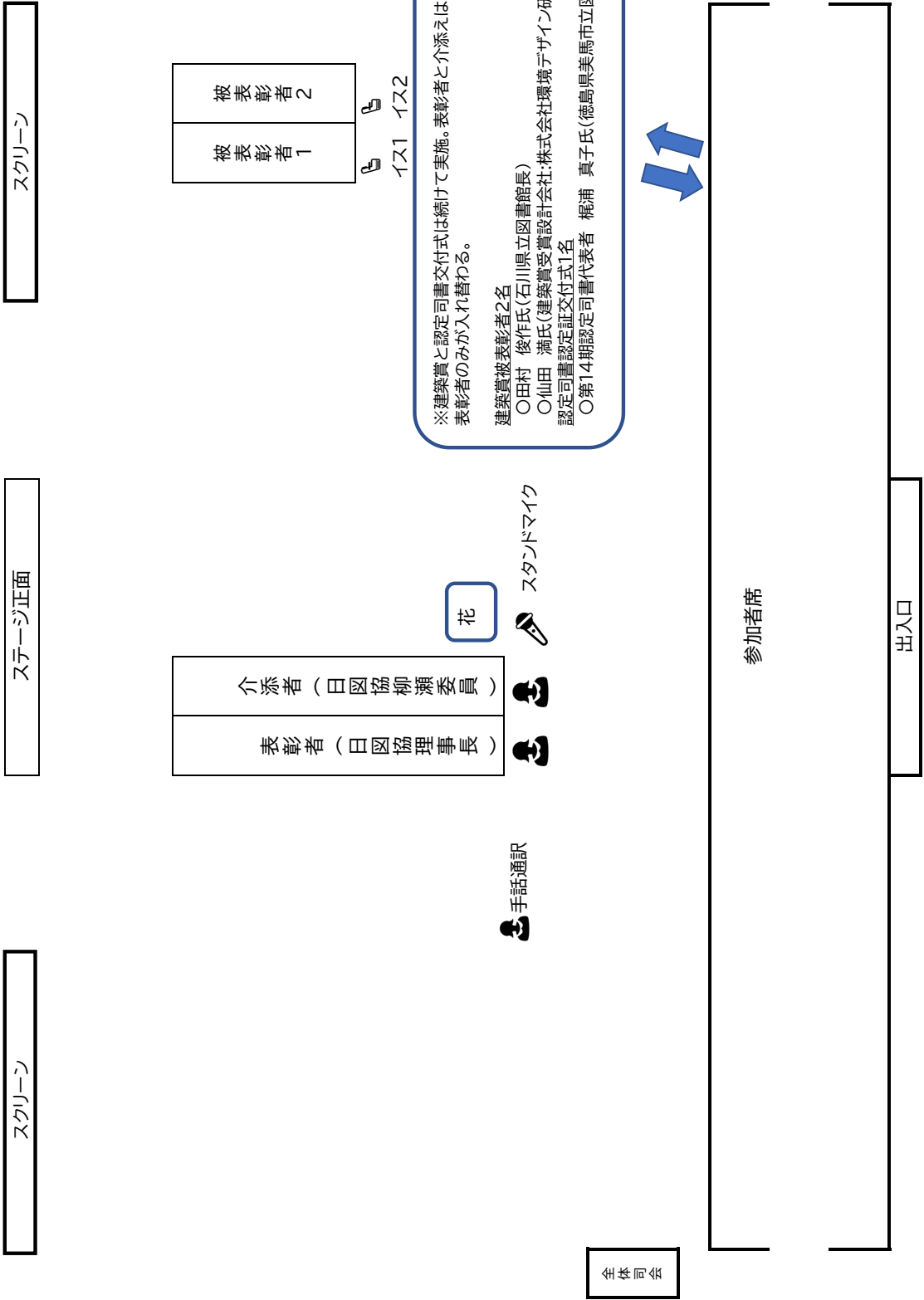
参加者席

要約筆記スクリーン

会場：大会議室ABC

出入口

建築賞表彰式・認定司書認定証交付式 配置図



被表彰者 1	被表彰者 2
--------	--------

イス1
イス2

※建築賞と認定司書交付式は続けて実施。表彰者と介添えはそのまま、被表彰者のみが入れ替わる。

- 建築賞被表彰者2名
- 田村 俊作氏(石川県立図書館長)
 - 仙田 満氏(建築受賞設計会社・株式会社環境デザイン研究所会長)
- 認定司書認定証交付式1名
- 第14期認定司書代表者 梶浦 真子氏(徳島県美馬市立図書館)

表彰者 (日図協理事長)	介添者 (日図協柳瀬委員)
--------------	---------------

- 手話通訳
- スタンドマイク

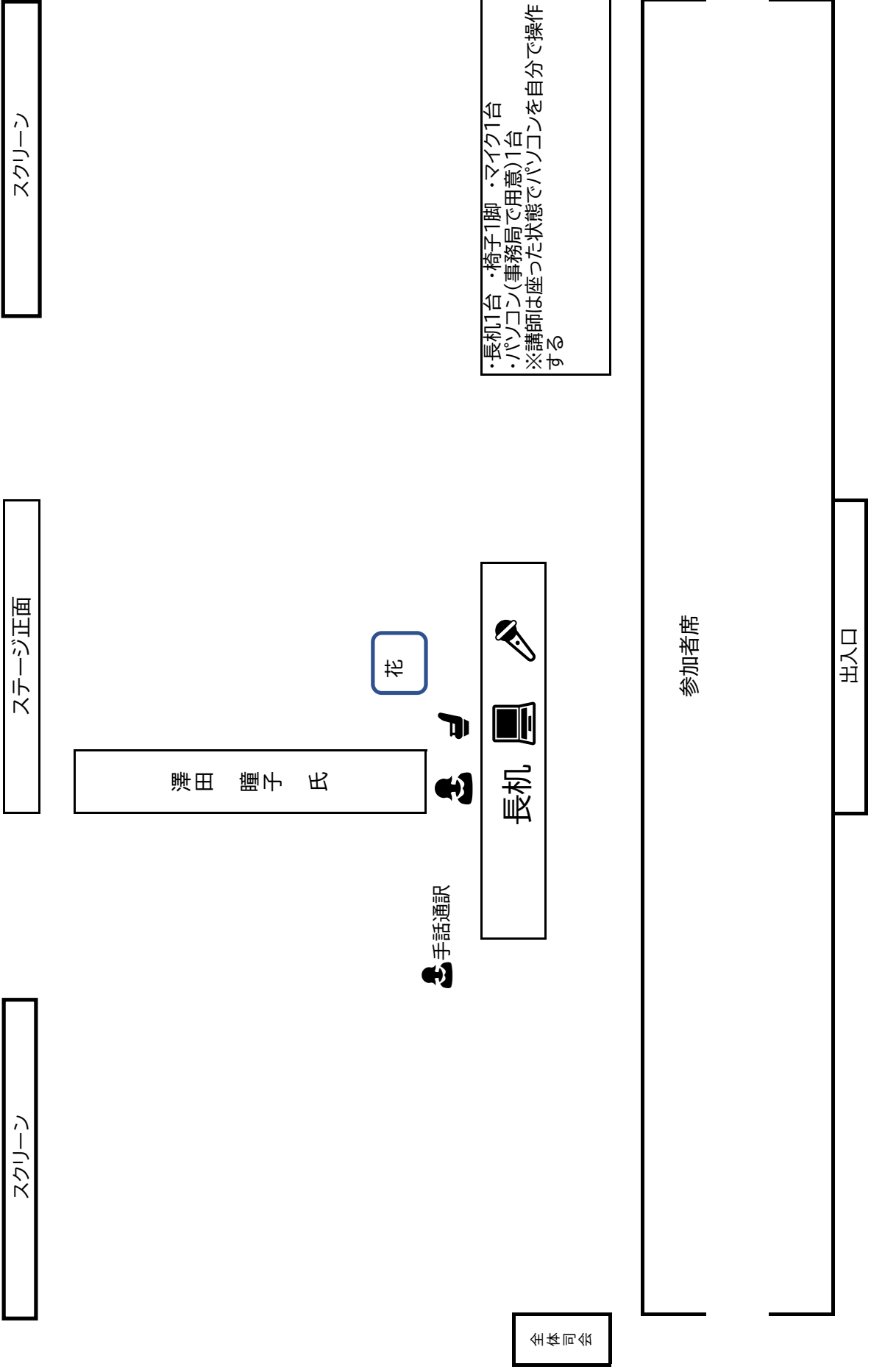
花

参加者席

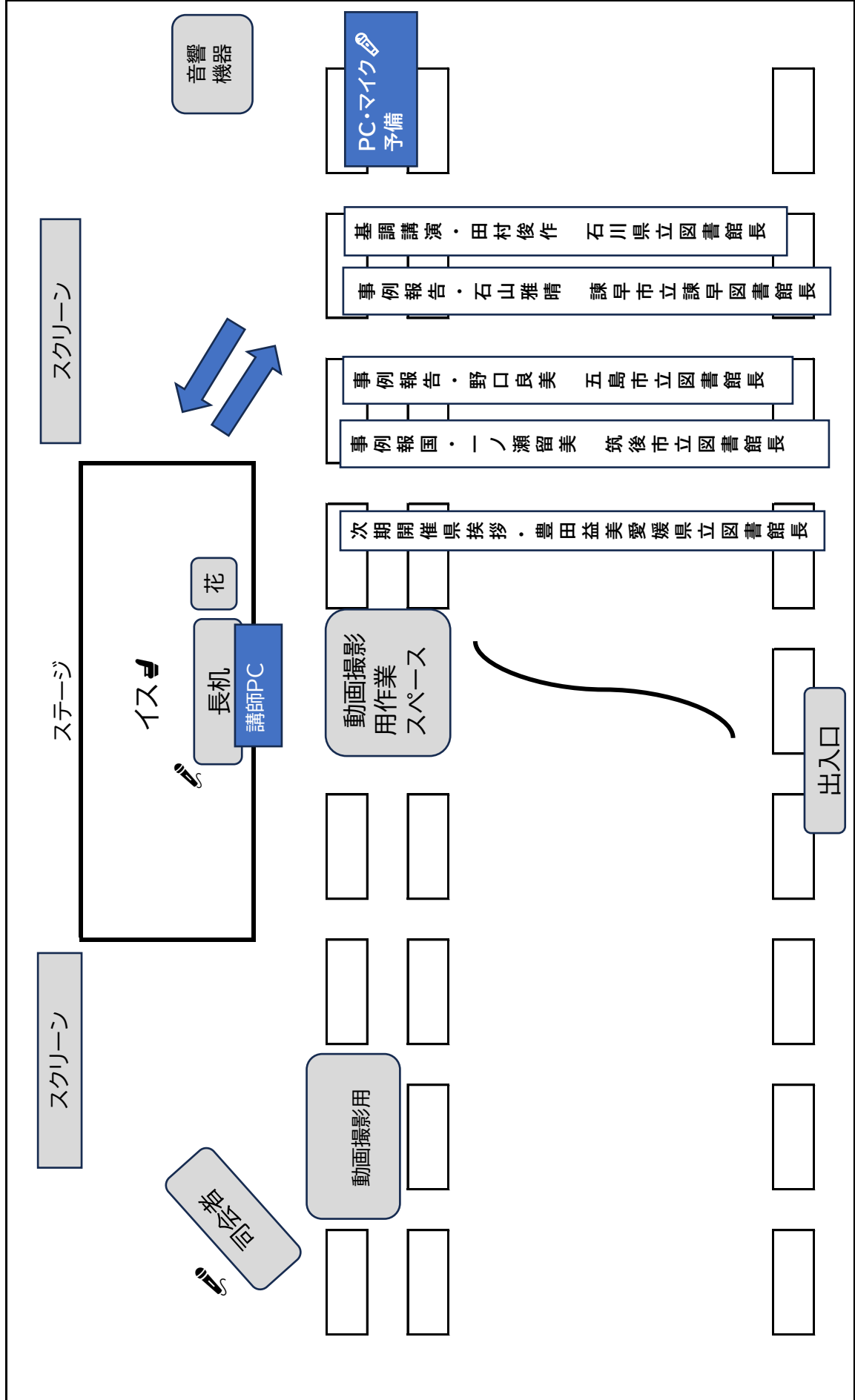
出入口

全体会会

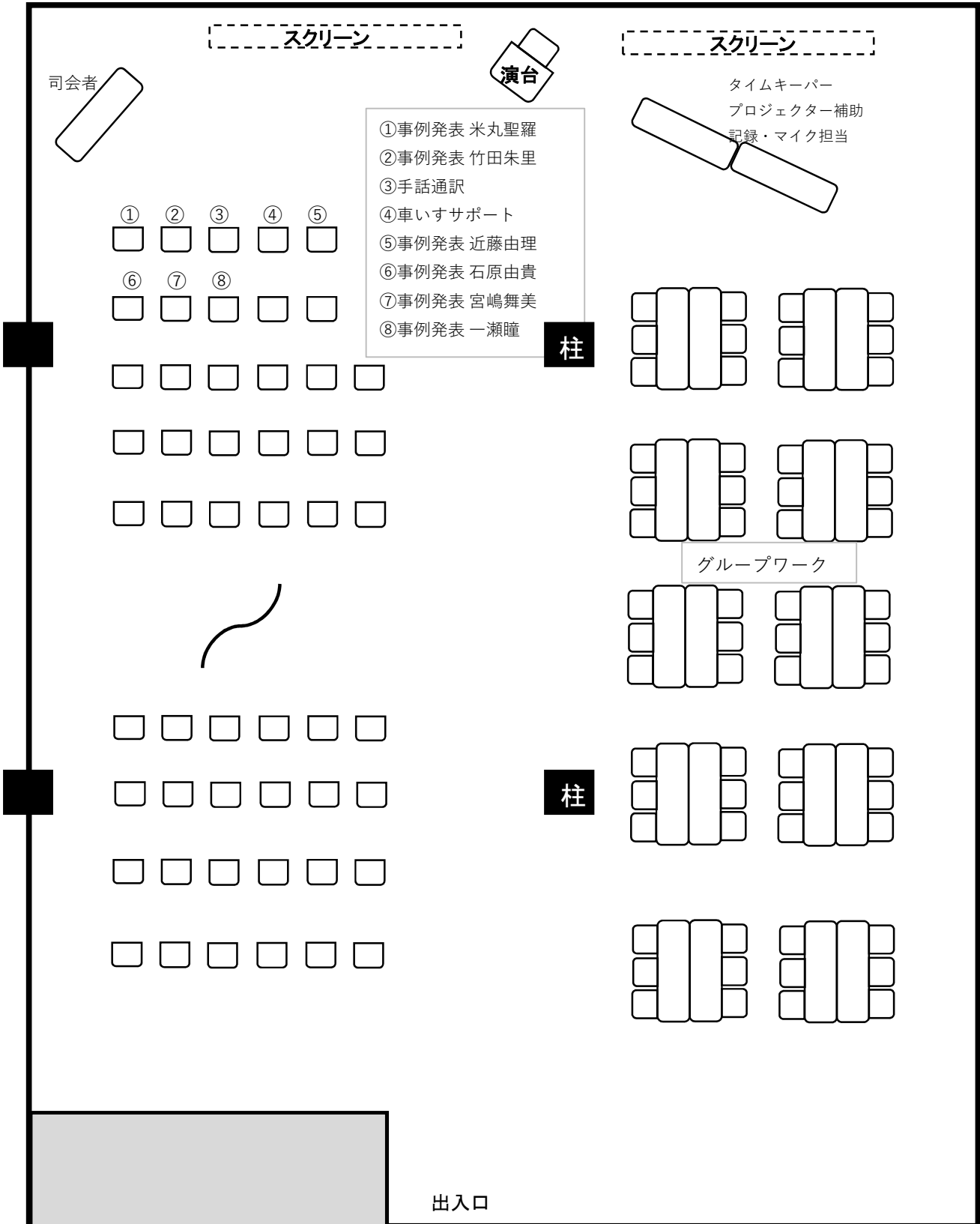
記念講演 配置図



第1分科会 公共図書館配置図



第2分科会 大学・短大・高専図書館 会場



分科会(長崎県担当分)開催形式・内容について

①11月30日(土) 第3分科会:学校図書館

対面形式【会場:長崎県庁大会議室】

オンライン形式※事前に収録し11月30日より配信

時間	項目
15:10~15:50(40分)	トークセッション(1)
16:05~16:10(5分)	事例紹介
16:10~16:40(30分)	トークセッション(2)
16:40~17:00(20分)	まとめ

事例報告4本

- ①永尾 真由美(佐世保市立祇園小学校
・祇園中学校司書)
- ②小林 香(長崎市立戸石小学校・橘中学校司書)
- ③坂下 里美(長崎県立島原高等学校定時制教諭)
- ④高木 美由紀(長崎県立五島高等学校司書)

トークセッション登壇者:澤田 瞳子(小説家)、福田 鉄雄(長崎南山高等学校副校長)、中島 寛(長崎南山高等学校教頭)、百合野 寿美子(長崎市立小江原中学校長)、玉田 加津枝(長崎市教委教育総務部生涯学習施設専門官・司書)、森繁 佑太(青雲高等学校2年)

②12月1日(日) 第1分科会:公共図書館

対面形式のみ【会場:長崎県庁大会議室】

時間	項目
9:30~11:00(90分)	基調講演:田村 俊作(石川県立図書館長)
11:15~12:00(45分)	事例報告①:石山 雅晴(諫早市立諫早図書館長)
13:30~14:15(45分)	事例報告②:野口 良美(五島市立図書館長)
14:30~15:15(45分)	事例報告③:一ノ瀬 留美(筑後市立図書館長)
15:30~16:15(45分)	意見交換会:※希望者のみ

③12月1日(日) 第2分科会:大学・短大・高専図書館

対面形式のみ【会場:長崎大学附属図書館 中央図書館】

時間	項目
9:40~10:10(30分)	【企画1】学生の見た図書館 事例発表:竹田 朱里・米丸 聖羅(熊本学園大学学生) 事例発表:近藤 由理(長崎純心大学学生)
10:20~11:05(45分)	【企画2】学生のための図書館へ〈ワークショップ前半〉 事例発表:石原 由貴(北九州市立大学図書館職員) 事例発表:宮嶋 舞美(九州大学芸術工学図書館職員) 事例発表:一瀬 瞳(長崎大学附属図書館職員)
11:30~12:20(50分)	【企画2】学生のための図書館へ〈ワークショップ後半〉 グループワーク
12:20~12:35(15分)	【ディスカッション】
12:40~13:40(60分)	【ランチミーティング】※希望者のみ

※分科会の対面形式については、当日収録し編集のうえ後日配信します。

第110回全国図書館大会長崎大会 分科会一覧

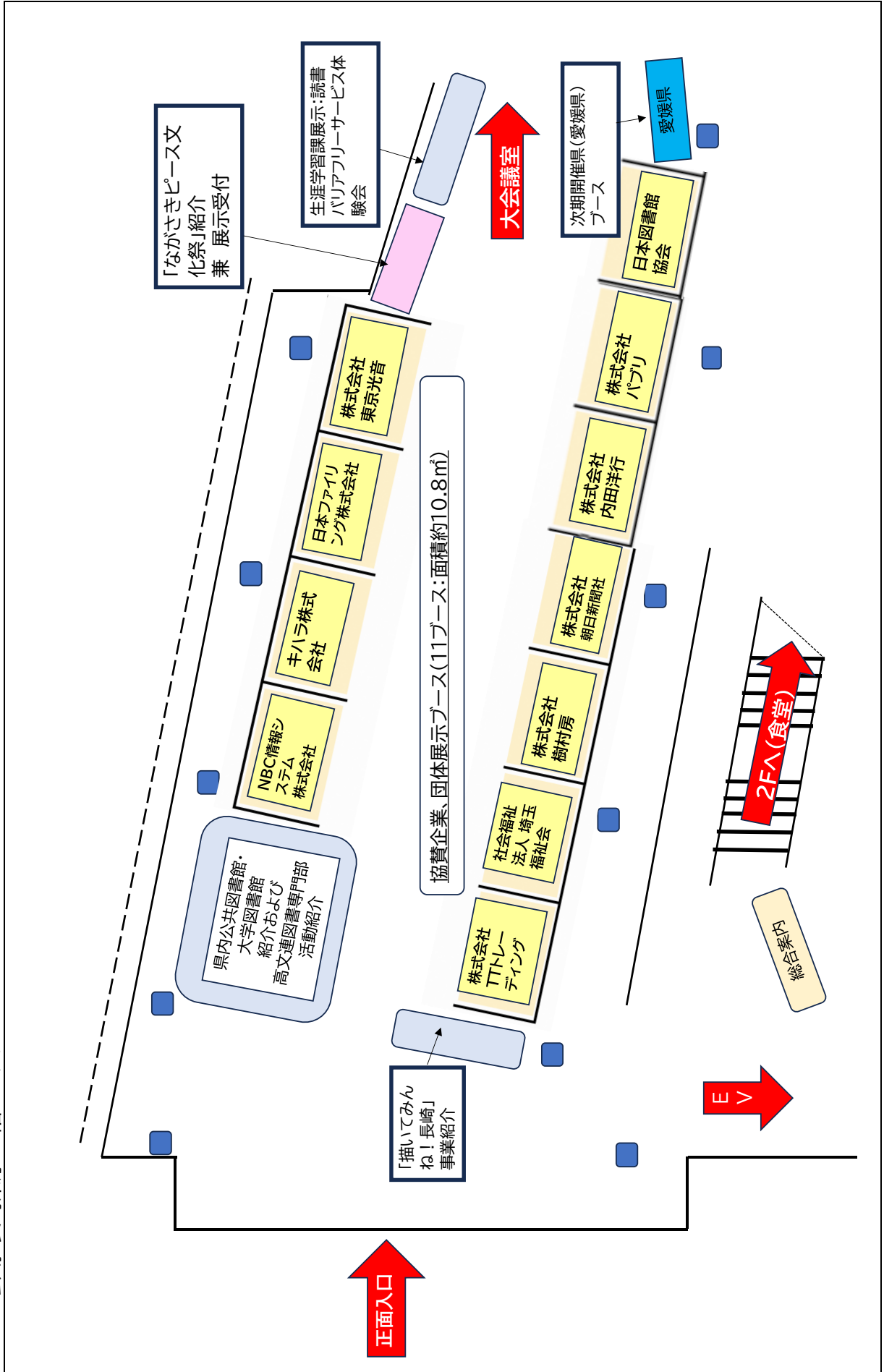
分科会	役割	所属・役職	講師氏名	タイトル	形式
第1分科会 公共図書館	基調講演	石川県立図書館 館長	田村 俊作	「市民目線のサービスをめざして～これからの公共図書館サービスを展望する～」	対面
	事例報告	諫早市立諫早図書館 館長	石山 雅晴	「図書館へ!! 図書館から!! ～諫早市立図書館の現在とこれから～」	対面
	事例報告	五島市立図書館 館長	野口 良美	「しまの書らしをささえ、地域をつくる図書館をミライへ」	対面
	事例報告	筑後市立図書館 館長	一ノ瀬 留美	「図書館に付加価値を付けていくサービス展開」	対面
第2分科会 大学・短大・ 高専 図書館	事例報告	北九州市立大学図書館 職員	石原 由貴	「北九大学の学生サービスについて」	対面
	事例報告	九州大学芸術工学図書館 職員	宮嶋 舞美	「芸工生の学びを育むDesign Library」	対面
	事例報告	長崎大学附属図書館 職員	一瀬 瞳	「学生のための大学図書館を目指して」	対面
	事例報告	熊本学園大学 学生	米丸 聖羅	「学生コンシエルジュの日常」	対面
	事例報告	熊本学園大学 学生	竹田 朱里		対面
	事例報告	長崎純心大学 学生	近藤 由理	「車いすの学生からみた大学図書館の利用」	対面
第3分科会 学校図書館	事例報告	佐世保市立祇園小学校・祇園中学校 司書	永尾 真由美	「つながる学校図書館～情報活用能力の佐世保モデルを身につけるために～」	オンライン
	事例報告	長崎市立橋中学校・戸石小学校 司書	小林 香	「結び ほぐす 弾む 学校図書館」	オンライン
	事例報告	長崎県立島原高等学校定時制教諭/長崎県高文連図書館専門部副委員長	坂下 里美	「長崎県の高校生の図書館活動～ライブラリーフェスティバルの取り組みを中心として～」	オンライン
	事例報告	長崎県立五島高等学校 学校図書館司書	高木 美由紀	「委員や本好きだけじゃない! みんなで創る学校図書館」	オンライン
	トークセッション	小説家	澤田 瞳子		
		全国朝の読書連絡会副会長/長崎南山学園副校長	福田 欽雄		
		長崎市立小江原中学校 校長 長崎南山高等学校 教頭	百合野 寿美子 中島 寛		
	長崎市教育委員会教育総務部生涯学習施設課 専門官(司書) 青雲高等学校 2年	玉田 加津枝 森繁 佑太			
				「つなぐ ひらく つくる 学校図書館」	対面

分科会	役割	所属・役職	講師氏名	タイトル	形式
第4分科会 児童サービス	発表1	日本図書館協会児童青少年委員会 委員長	島 弘	「司書科目「児童サービス論」の変遷と最近の動向」	ワライ
	基調講演	獨協大学 司書・司書教諭・学校司書課程担当専任教員/教授	井上 靖代	「司書科目「児童サービス論」の重要性と課題」	ワライ
	事例報告	佐賀県立図書館 職員	横多 綾	「佐賀県における児童サービス研究会の取組」	ワライ
	事例報告	平戸市立平戸図書館 司書	柴山 和美	「一人ひとりの子どもへのサービス ～平戸市立図書館の活動～」	ワライ
	発表	とらねこ文庫/親子読書地域文庫全国連絡会	廣瀬 美由紀	「私が児童図書館員に期待すること ―文庫活動を通して―」	ワライ
第5分科会 図書館情 報学教育	報告	青山学院大学 教授	大谷 康晴	「2030年代の高等教育と図書館員養成教育」	ワライ
	報告	聖徳大学	坂本 俊	「『日本の図書館情報学教育』調査の中間報告」	ワライ
第6分科会 著作権	基調報告	日本図書館協会著作権委員会 委員長	小池 信彦	「図書館を取り巻く著作権の状況ーこの20年の動き」	ワライ
	事例報告	上田女子短期大学/日本図書館協会著作権委員会	井上 奈智	「『図書館員が知りたい 著作権80問』のキモ」	ワライ
	事例報告	千葉大学附属図書館/国公立大学図書館協力委員会/大学図書館著作権検討委員会	高木 晃子	「『大学図書館における著作権問題Q&A』について」	ワライ
	事例報告	日本化学株式会社/専門図書館協議会著作権委員会委員長	永井 昌史	「『専門図書館と著作権Q&A』改訂に向けて」	ワライ
	事例報告	日本図書館協会著作権委員会 委員長	青木 涼	「学校図書館関係の著作権の近年の動向」	ワライ
	意見交換	上田女子短期大学/日本図書館協会著作権委員会 千葉大学附属図書館/国公立大学図書館協力委員会/大学図書館著作権検討委員会 日本化学株式会社/専門図書館協議会著作権委員会委員長	小池 信彦 井上 奈智 高木 晃子 永井 昌史	「図書館の著作権Q&Aに関する意見交換」	ワライ
第7分科会 図書館の 自由	基調報告	日本図書館協会図書館の自由委員会 委員長	山口 真也	「図書館の自由・この一年」	ワライ
	基調講演	東京都立大学法学部 教授	木村 草太	「憲法学者から見た『図書館の自由』」	ワライ

分科会	役割	所属・役職	講師氏名	タイトル	形式
第8分科会	開会挨拶・趣旨説明	青山学院大学/日本図書館協会図書館利用教育委員会委員長	野末 俊比古	開会挨拶・趣旨説明	ワライ
	基調講演(1)	梅花女子大学 教授	瀬戸口 誠	「海外における情報リテラシー教育の枠組みをめぐる動向」	ワライ
	基調講演(2)	帝京大学 准教授/帝京大学共通教育センター・MELIC副館長	上岡 真紀子	「海外の図書館におけるテクノロジーに親しむ場づくり」	ワライ
	意見交換	青山学院大学/日本図書館協会図書館利用教育委員会委員長	野末 俊比古	「日本型情報リテラシー教育の枠組みづくりに向けて」	ワライ
第9分科会	報告	国立国会図書館関西館/JLA障害者サービス委員会関西小委員会委員長	杉田 正幸	「みなサーチ(国立国会図書館障害者用資料検索)の紹介と具体的な活用方法」(仮題)	ワライ
	報告	全国視覚障害者情報提供施設協会サビ工事務局	西村 浩生	「読書が困難な方のためのインターネット図書館『サビ工図書館』のご紹介」	ワライ
	報告	ABSCセンター長	落合 早苗	「出版のアクセシビリティ対応とABSCの活動について」	ワライ
	事例報告	長崎県教育庁生涯学習課企画監	三好 素子	「長崎県における読書バリアフリー推進計画の策定までの経緯、現在の取組について」	ワライ
第10分科会	討議	国立国会図書館関西館/JLA障害者サービス委員会委員長	杉田 正幸		
		全国視覚障害者情報提供施設協会サビ工事務局	西村 浩生	「読書バリアフリー--アクセシブルな書籍の「借りる権利」と「買う自由」を目指して」	ワライ
		ABSC広報WGリーダー	落合 早苗		
	基調講演	東京都立中央図書館	眞野 節雄	「図書館(紙)資料の修理-基本的な考え方と手法-」	ワライ
第11分科会	実演(1)	日本図書館協会資料保存委員会委員/東京大学総合図書館	田崎 淳子	「図書資料の修理をはじめの前に」	ワライ
	実演(2)	日本図書館協会資料保存委員会委員/神奈川県立深沢高等学校	横山 道子	「図書資料の修理 Part 1」	ワライ
	実演(3)	日本図書館協会資料保存委員会委員/宮内庁	佐々木 紫乃	「図書資料の修理 Part 2」	ワライ
	事例報告	修理系司書の集い	川原 淳子	「『修理系司書の集い』-資料保存の現場見える化アンケート-から見る現場での修理」	ワライ
第12分科会	基調報告	合同会社未来読書研究所 共同代表/特定非営利活動法人読書の時間	田口 幹人	「書店と出版業界のいま」	ワライ
	事例報告	追手門学院大学 国際教養学部教授/図書館長	湯浅 俊彦	「書店の経営危機、メディアの変遷、そして図書館」	ワライ
	事例報告	荒川区立中央図書館 ゆいの森あらかわサービス係	林 胡蝶	「図書館と小売り書店の協力事例」	ワライ
	基調講演	高知県立図書館	久保田 萌	「オーテピア高知図書館における多文化サービスの取組について」	ワライ
第13分科会	委員会報告	常葉大学	那珂 元	「多文化サービス委員会この1年」	ワライ
	事例報告	長崎純心大学	浜口 美由紀	「長崎県の多文化サービスの現状」	ワライ
	事例報告	長崎県南高崎市 国際交流員	カルロニ・エマヌエーレ・ロルコロ	「多文化共生の場としての図書館の役割」	ワライ
	事例報告	日本図書館協会多文化サービス委員会副委員長	阿部 治子	「読書バリアフリーと『やさしい日本語』」	ワライ

分科会	役割	所属・役職	講師氏名	タイトル	形式
第13分科会	基調報告	図書館災害対策委員会委員長／伊万里市民図書館	末次 健太郎	「この1年における災害と対策について」	オンライン
	事例報告	輪島市立図書館	堂ヶ口 真奈	「能登半島地震 現地からの報告」	オンライン
		石川県立図書館	上田 敬太郎		
	事例報告	図書館災害対策委員会・能登半島等地震で被災された図書館職員のみなごま	-	「能登半島地震 現地調査から見えてきたもの」	オンライン
第14分科会	オンライン鼎談	図書館災害対策委員会	末次 健太郎		
			鈴木 史穂	「被災された図書館の皆様へ」メッセージを解説する」	オンライン
			熊谷 慎一郎		
	基調報告	日本図書館協会非正規雇用職員に関する委員会委員	高橋 恵美子	「JLA学校図書館職員調査報告」	オンライン
	事例報告	日本図書館協会学校図書館部会副部長	中村 崇	「高校の非正規雇用職員の現状」	オンライン
	事例報告	学校図書館非正規雇用職員	鈴木(仮名)	「小学校・中学校の学校図書館職員の現状:2つの自治体の例から」	オンライン
第15分科会	事例報告	学校図書館非正規雇用職員	佐藤(仮名)	「小・中学校図書館職員の現状 2校兼務について」	オンライン
			高橋 恵美子		
			中村 崇		
	パネルディスカッション	【登壇者】日本図書館協会非正規雇用職員 【登壇者】日本図書館協会学校図書館部会副部長 【登壇者】学校図書館非正規雇用職員	鈴木(仮名)	「学校図書館で働く非正規雇用職員」	オンライン
			佐藤(仮名)		
			甫飯 久美子		
第15分科会	講演	元多摩市に中央図書館をつくる会 代表	青木 洋子	「多摩市の公共施設再編の動きと中央図書館開館やこれからの課題」	オンライン
	講演	長与町の新しい図書館を想う会 代表	小袋 朋美	「しほむ希望、ふくらむ希望 ～町の図書館づくりの中で～」	オンライン
	報告	図書館友の会全国連絡会 公共図書館プロジェクト班	佐久間 美紀子	「公共図書館の職員問題～私たちが調べたこと～」	オンライン

第110回全国図書館大会長崎大会 展示会場図
会場:長崎県庁 1階エントランス



第110回全国図書館大会長崎大会 懇親交流会概要

日 時 令和6年11月30日(土) 17時30分～19時30分
 会 場 ホテルセントヒル長崎2階 妙見の間(立食形式)
 参 加 約150人
 受 付 受付開始17時00分
 クロークも設置
 司会進行 大会事務局

- | | | |
|-----------|-------|-------------------------------|
| 1 開会宣言 | 17:30 | 司会者 |
| 2 主催者挨拶 | 17:30 | 大会実行委員会委員長(長崎県教育委員会教育長) 前川 謙介 |
| 3 来賓代表挨拶 | 17:35 | 石川県立図書館長 田村 俊作 |
| 4 乾杯 | 17:40 | 公益社団法人日本図書館協会 理事長 植松 貞夫 |
| 5 歓談 | 17:45 | |
| 6 アトラクション | 18:00 | 変面ショー(15分程度)
終了後、引き続き歓談 |
| 7 次回開催県挨拶 | 19:20 | 愛媛県立図書館長 豊田 益美 |
| 8 閉会 | 19:30 | 大会実行委員会副委員長(長崎県立長崎図書館長) 池田 浩 |

○対面開催における事務局員等係分担

(大会全体)

係	担当者
総括	池田館長、三好副館長、四谷

(全体会 11/30) 会場:長崎県庁大会議室

★:係の総括です

係	担当者	業務内容
会場係	★若杉、青崎、大久保、田川、本田、山口(仁)	舞台設営、音響、舞台転換、案内用張り紙
進行係	★四谷(※司会者は三好副館長)	進行確認
来賓係	★土屋、汐碓	舞台上席誘導、登壇・降壇案内、受付後誘導
記録係	★橋本、山口(祥)	記録用写真撮影
受付係	★山口(智)、石野、大原、太田、米村、吉浦、平村(PM)、ボランティア	受付、資料配付、クローク対応
案内係	★釘山、ボランティア	会場への誘導、ボランティア対応
弁当係		弁当受取・回収後業者引渡、弁当配付
展示係	★井手下、吉田、山口(智)、永田、峯脇(AM)	エントランス展示対応

(分科会 11/30)会場:長崎県庁大会議室

分科会	分科会テーマ及び会場	対応者
第3分科会 ※トークセッションのみ	「主体的で探究的な学びを支える開かれた学校図書館の創造」 長崎県庁大会議室	県立図書館職員:汐碓、橋本、大原 長崎県学校図書館教育研究会:4名

(分科会12/1)会場:長崎県庁大会議室(第1分科会)、長崎大学附属図書館 中央図書館(第2分科会)

分科会	分科会テーマ及び会場	対応者
第1分科会	「社会の変化と公共図書館のミライ」 長崎県庁大会議室	県立図書館職員:山口(智)、井手下、土屋、橋本、石野、汐碓、大原、春田、田川、山口(保) 生涯学習課職員:永田、山口(仁)、峯脇(展示係兼) ボランティア
第2分科会	「学生のための大学図書館へ!~なんでも話そうチャンポン・ワークショップ~」 長崎大学附属図書館	長崎県大学図書館協議会:17名 県立図書館職員:釘山、若杉 ボランティア

第110回全国図書館大会長崎大会予算

【収入】

(単位:円)

項 目	当初予算	摘 要
参加者収入	5,000,000	県外(オンライン)4,000円×850人 県内(オンライン)2,000円×50人 県外(対面)6,000円×200人 県内(対面)3,000円×100人 参加者計1,200人
負担金	5,000,000	
日本図書館協会	5,000,000	
補助金等	0	
広告収入等	500,000	広告料、出展料等
合計	10,500,000	

【支出】

項 目	当初予算	摘 要
報償費	1,274,000	全体会講師・分科会講師・発表者等
旅費	431,000	全体会講師・分科会講師・発表者・実行委員会委員等
需用費	2,217,000	
食糧費	150,000	来賓・講師・スタッフ弁当代
印刷製本費	1,767,000	大会案内・大会記録
その他消耗品費	300,000	用紙、インク、文具類等
役務費	945,000	通信運搬費、振込手数料
委託料	5,535,000	受付事務等業務委託
使用料	0	会場使用料
予備費	98,000	
合計	10,500,000	

第110回全国図書館大会長崎大会 協賛企業・団体一覧

【実行委員会分】	
1	株式会社INTERMEDIA
2	NBC情報システム株式会社
3	株式会社佐藤総合計画
4	株式会社 十八親和銀行
5	株式会社 上滝
6	たちばな信用金庫
7	中央公論新社
8	戸田建設株式会社九州支店
9	長崎図書納入組合
10	長崎バス観光株式会社
11	株式会社 堀内組
12	株式会社 ライムイシモト

【日本図書館協会分】	
1	株式会社 朝日新聞社
2	株式会社内田洋行
3	株式会社 カーリル
4	キハラ株式会社
5	社会福祉法人 埼玉福社会
6	株式会社 樹村房
7	一般社団法人 情報科学技術協会
8	株式会社ソフテック
9	株式会社TTトレーディング
10	株式会社東京光音
11	株式会社図書館総合研究所
12	株式会社 図書館流通センター
13	内外地図株式会社
14	日本ファイリング株式会社 (インプリメント株式会社)
15	株式会社 パブリ
16	Library Contents Service株式会社

(五十音順)

※協賛のほか、公益財団法人 日本教育公務員弘済会長崎支部より「日教弘長崎支部奨励金」の給付がありました。

第110回全国図書館大会長崎大会 今後のスケジュール（令和6年10月下旬～令和7年3月）

参加者申込受付締切…対面開催：9月10日

オンライン開催参加：10月17日（※10月10日から10月17日に延長）

日付	会議・作業（予定）	内容等
10月下旬	『図書館雑誌』2月号（大会ハイライト）原稿依頼	各分科会へ依頼 ※12月20日原稿締切
11月上旬	『大会記録』掲載分科会（ 対面開催 ）要旨等原稿依頼	各分科会（ 対面開催 ）へ依頼 ※12月下旬原稿締切 ※オンライン開催分科会には依頼済み
11月11日	第2回実行委員会	大会準備・公開準備・申込状況報告、実施内容最終確認他
11月下旬	オンライン配信用パスワード等送信	
11月30日	全国図書館大会 当日	対面形式：全体会・分科会（学校図書館分科会・トークセッション） オンライン配信開始（～12月28日）
12月1日	全国図書館大会 当日	対面形式：分科会（公共図書館分科会、大学・短大・高専図書館分科会）
12月下旬	『大会記録』発注	
2月中旬	『図書館雑誌』2月号発行	2月20日頃発行
3月上旬	『大会記録』納品・発送	大会参加者、協賛企業等あて送付
3月下旬	第3回実行委員会	大会結果報告、決算概要報告、実行委員会解散

(参考資料) 第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会規約等

第110回全国図書館大会長崎大会 実行委員会 組織体制

【大会役員】

会長	長崎県知事
副会長	公益社団法人日本図書館協会理事長

【実行委員会】

委員長	長崎県教育委員会教育長
副委員長	公益社団法人日本図書館協会理事
	長崎県立長崎図書館長
	長崎県公共図書館等協議会副会長（諫早市立図書館長）
実行委員	長崎県公共図書館等協議会副会長（新上五島町立図書館長）
	長崎県学校図書館教育研究会会長
	長崎県学校図書館教育研究会副会長
	長崎県高等学校文化連盟図書専門部長
	長崎県大学図書館協議会会長
	長崎県教育庁生涯学習課長
監事	長崎県公共図書館等協議会監事
	長崎県大学図書館協議会監査担当館長

【事務局】

事務局長	長崎県立長崎図書館副館長
事務局員	長崎県立長崎図書館職員 長崎県教育庁生涯学習課職員

第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会規約

(趣旨)

第1条 第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会(以下「委員会」という。)の設置及び運営に関して必要な事項を本規約のとおり定める。

(所掌事務)

第2条 委員会は、第110回全国図書館大会長崎大会(以下「大会」という。)の開催に際し、次の業務を行う。

- (1) 大会の開催に関すること。
- (2) 大会の企画に関すること。
- (3) 大会当日の業務に関すること。
- (4) その他、大会に関して必要な事項に関すること。

(構成及び役員)

第3条 委員会は、別表に掲げる者をもって構成する。

- 2 委員会に委員長1名、副委員長3名、監事2名の役員を置く。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- 5 事務局を所管する副委員長は、会務の日常的業務や事務局業務を総括する。
- 6 監事は、実行委員会の会計及び業務を監査する。

(任期)

第4条 役員及び委員(以下「委員等」という。)の任期は、施行の日から委員会解散の日までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員等が、就任時の機関又は団体の役職を離れたときは、後任者をもって充てる。

(報酬)

第5条 委員等に対して報酬は支給しない。ただし、委員等は、その職務を執行するために要した費用の弁償を受けることができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員会は、第2条に掲げる事項について審議し、決定する。

3 委員会は、オンライン会議または書面での開催を妨げない。

4 委員会は、委員の過半数(委任状、オンライン参加を含む)の出席をもって成立する。

5 委員会の議事は、出席者の過半数をもって可決し、可否同数のときは議長が決する。

6 委員会への委員以外の者の出席は、委員長の判断によるものとする。

(事務局)

第7条 委員会の庶務を処理するため、事務局を長崎県立長崎図書館に置く。なお、事務局に関する規程は、別に定める。

(その他)

第8条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、委員長がその都度定める。

附 則

この規約は、令和6年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

委員長	長崎県教育委員会教育長
副委員長	公益社団法人日本図書館協会理事
	長崎県立長崎図書館長
	長崎県公共図書館等協議会副会長（諫早市立図書館長）
実行委員	長崎県公共図書館等協議会副会長（新上五島町立図書館長）
	長崎県学校図書館教育研究会会長
	長崎県学校図書館教育研究会副会長
	長崎県高等学校文化連盟図書専門部長
	長崎県大学図書館協議会会長
	長崎県教育庁生涯学習課長
監事	長崎県公共図書館等協議会監事
	長崎県大学図書館協議会監査担当館館長

第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会事務局規程

(趣旨)

第1条 この規程は、第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会(以下「実行委員会」という。)規約第7条の規定に基づき、実行委員会事務局(以下「事務局」という。)の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 事務局は次の各号に掲げる事務を行う。

- (1) 実行委員会の連絡調整に関する事。
- (2) 事業計画及び事業報告に関する事。
- (3) 予算及び決算、会計事務に関する事。
- (4) その他、大会の運営に必要な事務手続きに関する事。

(組織)

第3条 事務局の職員(以下「事務局員」という)は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 事務局長1名を置き、長崎県立長崎図書館副館長をもって充てる。
- (2) 事務局員は、長崎県立長崎図書館職員及び長崎県教育庁生涯学習課職員をもって充てる。

(文書の管理)

第4条 文書の記号は「110全図長」とする。

- 2 文書の番号は追次番号とし、実行委員会発足の日から解散の日までとする。ただし、軽易な文書については、これを省略することができる。
- 3 その他文書の管理については、長崎県公共図書館等協議会の例によるものとする。

(決裁事務)

第5条 実行委員会の日常的業務や事務局業務の決裁は、事務局常駐の副委員長が行うものとする。

- 2 会計事務に関する規定は、別途定める。

(公印の管理)

第6条 公印は、事務局長が保管するものとする。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関し必要な事項は事務局長が別に定める。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から適用する。

第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会 会計規程

(目的)

第1条 第110回全国図書館大会長崎大会実行委員会(以下「実行委員会」という。)事務局規程第5条の規定に基づき、実行委員会の会計事務に関し、必要な事項を本規程のとおり定める。

(会計期間)

第2条 会計期間は、実行委員会の発足日に始まり、解散月の末日に終わる。

(会計に関する事務の決裁)

第3条 実行委員会の会計に関する事務は、実行委員会事務局を所管する副委員長が決裁する。

2 前項の事務は、別紙様式による。

(出納職員)

第4条 実行委員会の出納及び資産に関する事務を統括する職として、出納員を置き、事務局長をもってこれに充てる。

2 出納員は、金銭の出納、保管、その他会計事務に関する職務を行う。

3 出納員に事故あるとき、又は欠けたときは、事務局長があらかじめ指名する者がその職務を行う。

(広告料収入)

第5条 大会に協賛する企業等から、実行委員会に広告掲載の申し込みがあり、広告料として納入された金額は、大会収入として計上する。ただし、公益社団法人日本図書館協会に対して直接、広告掲載の申し込みがあり、同協会に広告料が納入された分は、同協会の収入とする。

(分科会講師等への謝金等の支払基準)

第6条 分科会の講師等へ支払う謝金等の基準は、別紙「第110回全国図書館大会長崎大会参加費・交通費・謝礼等の取り扱いについて」のとおりとする。

(その他)

第7条 本規程に定めるもののほか、会計について必要な事項は長崎県財務規則等を準用するものとする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から適用する。

第 110 回全国図書館大会長崎大会
参加費・交通費・謝礼等の取り扱いについて

全国図書館大会は、会員相互の自助努力と共同の力により、持ち合い、助け合い、支えあうことを基本的な運営理念とする。したがって、図書館協会役員はもちろんのこと、大会運営を担うものも原則としては参加費を含む諸費用を負担することが基本的な考え方である。

しかしながら、それだけでは参加者が十分に満足を得るだけの内容の大会にすることは困難であり、社会通念を配慮し必要に応じた柔軟な措置をとることも求められていることから、以下の統一基準を設けるものとする。

大会の運営に携わるものを以下のとおりとする。

区 分	構 成	任 務
大会実行委員	大会実行委員会委員	大会全般に関すること
大会（実行委員会） 事務局員	大会実行委員会事務局員並びに日本図書館協会の役員のうち大会事務局を担当する者及び日本図書館協会職員	全体会進行、来賓対応、表彰事務、受付、全体会案内、大会ボランティアの統括、障害者対応、分科会との連絡等
大会運営スタッフ	大会全体の運営を担当する者	大会受付、案内、設営、進行、記録、大会本部との連絡など
分科会運営スタッフ	分科会の運営を担当する者（各5名以内程度）	分科会の受付、進行、記録、大会本部との連絡など
大会ボランティア	大会運営を支える図書館職員、県民および大学生などのボランティア	会場までの案内、受付、会場内の案内、その他補助

1 分科会講師及び分科会運営スタッフの人数

- 1) 分科会講師については、原則として5名以内とする。
- 2) 分科会運営スタッフについては、概ね5名以内程度とする。

2 参加費の免除

下記の者については、大会参加費は徴収しない。

- 1) 来賓、被招待者
- 2) 全体会講師、分科会講師、コーディネーター、事例発表者等
- 3) 実行委員会委員、大会事務局員、開催県が手配した大会運営スタッフ及び分科会運営スタッフ（ただし、実行委員会が手配したスタッフに限る）

- 4) 大会ボランティア、手話通訳者等
- 5) 報道関係者

3 謝金

- 1) 記念講演講師への謝金は、個別交渉による。
- 2) 分科会講師・発表者への謝金は、以下のとおりとする。
 - ① 日本図書館協会の個人会員である場合は、原則支払わない。
 - ② 上記①に該当しない講師、発表者には、以下の基準により支払う。
 - ア) 基調報告・基調講演講師については、20,000 円を支払う。
 - イ) 事例報告、分科会シンポジウム出演者については、10,000 円を支払う。
 - ③ 分科会に対する個別の協賛金等から謝金を支払う場合は、実行委員会と協議による。
 - ④ この基準によりがたい場合は、実行委員会と協議による。

4 旅費

- 1) 記念講演講師、発表者への旅費については、実費全額を支給する。
- 2) 分科会発表者には、片道 1,000 円を超えた場合超えた部分について実費を支払う。遠距離の場合は幹線往復実費を支払い、上限は 40,000 円とする。ただし、謝金を支払わない場合に限り、実費全額を支給することができる。なお、分科会に対する協賛金により支払われる場合は、実行委員長と協議のうえ支払う。
- 3) 分科会運営スタッフについては、旅費は支給しない。ただし、往復 5,000 円を超えた場合は、超えた額を支給する。ただし、上限を 35,000 円までとする。
- 4) 3) により支払う運営スタッフの数は、各分科会原則 1 名以内とする。
- 5) 事前の動画撮影時に発生した旅費については支給しない。
- 6) この基準によりがたい場合は、実行委員会と個別に協議して決める。

5 昼食

来賓、大会実行委員、大会事務局員、大会運営スタッフ、分科会運営スタッフ、全体会・分科会講師、分科会発表者、大会ボランティアには、必要に応じて昼食（弁当）を提供する。

6 講師の宿泊

全体会講師、分科会講師及び発表者については、可能な限り宿泊せずに大会に参加していただく。ただし、やむを得ず宿泊する場合は、1 泊につき 10,800 円を（長崎県職員の旅費に関する条例に基づき）支給する。

- 7 海外からの招待者、講師を招聘した場合は、旅費（滞在費、食費の一部を含む）に要した実費費用を弁償する。ただし、別の規程等で支払い方法が決まっている場合は、この限りではない。